

今年度最終号となる3月号では1年生の授業を紹介します。

【資料】「つかの間の出来事」(副読本「かけがえのないきみだから」より)

【概要】



夜、スーパーに母と買い物に行った「私」は、何気なく手に取った本の表紙を誤って破いてしまう。悪いことをしてしまったという気持ちはありながらも、本を裏返しにし、知らないふりをして店を後にしてしまう。帰途、良心の呵責に耐えきれなくなり、店に戻り、店の人に謝罪をする。そして、帰宅して母にも一切を話し、心にかかっていた黒い雲がすっきり消え、清々しい気持ちになる。

【わらい】

人間の弱さ、不完全さに気づき、それを克服し、強く正しく生きる力もあることを信じて、人間としての誇りを持って生きようとする態度を育む。【弱さの克服・生きる喜び】

《授業の感想・・・》

- 何かを壊してしまったりした時、はっきり言えば気持ちが良くなるし、隠しているとずっと嫌な気持ちになってしまうので、私はすぐにちゃんと言いたいです。でも、勇気が出なくてちゃんと謝れない時には、あゆみさんのことを思い出して、自分の嫌なところとさよならできるようにしたいです。
- あゆみさんはえらいなあと思いました。私だったら、逃げてそのままだったかもしれません。もし、この先、このようなことが私に起こったら、あゆみさんを見習わない、正直に言うようにしたいです。
- この物語の主人公・あゆみさんの気持ちがとてもよくわかりました。私も、悪いことをしてしまったら、一度は逃げてしまうと思います。でも、今回、この勉強をして、悪いことをしたら謝れる自分を出していきたいです。「それから逃げる」勇気ではなく、「それと戦う勇氣」をもちたいです。
- 僕も「わたし」と同じ気持ちになったことがあります。自分がおかしてしまった罪を打ち明けられない間というのは、心などが苦しく、一生苦しんでしまいそうでした。でも、母に打ち明けていくと、とても心がすっきりしました。心を開くということはとても大切なことです。
- これまではこんなことはなかったけど、これからこの教材のようなことがあったら、しっかり正しい判断をしたいと思う。正直に言った方がすっきりとなるのは本当だと思うし、正直に言った方が自分でもすっきりするから、正直に言いたいと思う。

- これからは、後悔しない判断ができるようにしたい。主人一公のように、謝る気持ちもきちんと持てるといいと思う。後悔を抱えたまま生きるっていうのは、重いものを一生抱えていくことだと思うから、ちゃんと謝れる人になりたい。
- 今日、この授業を通して、正直に言うことの大切さと重さを感じることができました。この話を聞く前の私だったら、もしあゆみさんと同じことをしたら店の人や母に言う自信はありませんでした。しかし、この話を聞いて、良心が、正直なことがどれだけ大事かを知ることが出来ました。あゆみさんがやってしまったようなことはしないのが一番です。ですが、もししてしまった時、あゆみさんのように正直に言えるような自分であればいいと思います。
- この授業で、周りに流されたり、自分に負けたりしないで正直に在ることの大切さがわかった。これから、嫌なことや大変なことがあっても、まっすぐ向き合っていきたいと思った。
- 本当のことをちゃんと言うことの大切さがよくわかった。言わないと、これからずっと後悔しなきゃいけないから、ちゃんと言った方がいいと思う。この授業で学んだことを、これから生かしていきたいと思う。
- 私だったら・・・と考えると、きつと言えなかつたらうなと思いましたが、でも、今日の授業で考え方を変えることができました。「ばれないからいいや」じゃなく、自分が「人」としてしっかり謝ることが大切なんだと思います。そういうことの積み重ねで人と信頼を受けたり、これからの人生につながったりすると思いました。
- この話を読んで、自分の黒い心に負けたとしても、ちゃんと謝ることが大事だと思えました。自分が後悔しないために、早めに謝らないといけなかつたらうなと思えました。ぼくは、この人よりも先に謝ってすっきりしたいです。
- 悪い事をしてしまったら、そのままにせず、ちゃんと謝ることが大事だと思えました。悪い事をしたり、ごまかしたりすると、絶対に自分に後悔するようなことが返ってくると感じます。
- この授業を通して、自分が過ちを犯したら謝るようにしようと思えました。自分の心の中にある心の弱さ、するさに打ち勝つということは、とても大切なことなんだと思えました。
- この人がちゃんと謝罪できて良かったと思った。弁償せずに済んだのも、この人がちゃんと謝れたからだと思う。こういうことがあつたら、ちゃんと謝れるようにしたい。

.....
切り取り線
.....

※「道徳だより」や道徳授業へのご意見・ご感想などをお聞かせください。

【提出は担任にお願いします。】

【3月の授業予定…】

●第1学年

資料名	ねらい
実践目標は 小きざみに	より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。
TSUBASA	生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。

●第2学年

資料名	ねらい
私たちの初詣	他人の言動に左右されることなく、自主的に考え判断し、誠実に実行してその結果に責任をもとうとする態度を育てる。
ぼくの職場体験活動	勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって公共の福祉と社会の発展に努める態度を育てる。
地上五十センチの アングル	自分の状況を考え、理想の実現に向かって自らの人生を切り拓いて行こうとする意欲を育てる。

●第3学年

資料名	ねらい
お母さんへ	親子の情愛から生きることの素晴らしさとありがたさを知り、かけがえのない生命をいとおしみ、大切にできる心情を養う。
まるごと好きです	互いの個性を認め、相手の考えや立場を尊重して、開かれた心で他に学ぶ態度を育てる。

*1年間、三尻中学校の道徳教育への御支援、御協力をありがとうございました。
更に充実した道徳教育ができるよう、努めていきたいと思っております。
来年度も引き続き、御支援、御協力を宜しくお願ひいたします。

